

IT化による産業保健の活性化に関する調査研究

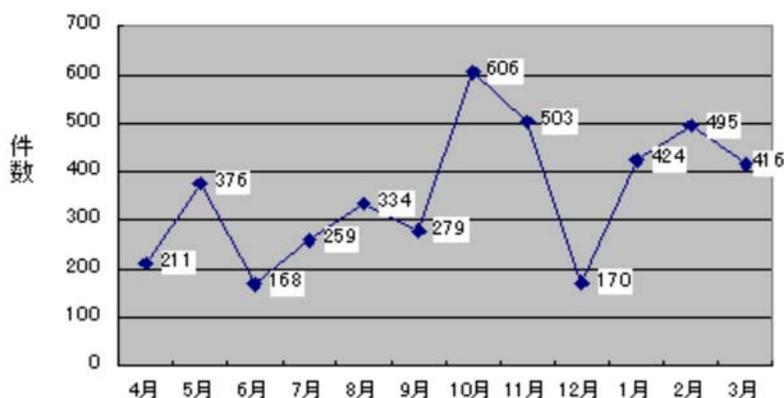
調査態勢

主任研究者 京都産業保健総合支援センター所長 横田 耕三
 共同研究者 京都産業保健総合支援センター相談員 内藤 勝巳
 共同研究者 京都産業保健総合支援センター相談員 平林 裕
 他 地域センターオーディネーター

1.目的

産業保健活動に関して、最も重要な課題は事業主、労働者への情報提供である。現代は、情報化時代であり、IT化が進行しており、その手段としてホームページ(HP)やEメールが活用されている。当センターにおいても既にIT化を進めているが、さらなる活性化と地域センター活動の支援を図ることとして本調査研究をおこなった。当センターのHPは平成9年10月に開設、平成12年度末でアクセスは823件であったが、その後内容も充足し迅速に対応したため平成13年度のアクセス数は急増した(図1)

図1 平成13年度ホームページのアクセス状況



2.調査方法

京都府下の産業医、産業看護師・衛生管理者、及び事業主にハガキによるアンケート調査を実施した。

Ⅱ.調査結果

1. 回収状況 発送:5,390 回答:546(回収率:約10%) 内訳は表1に示す。

表1 調査票の回収状況

	発送数	回答数	回収率(%)
産業医	1,498	230 (117)	15
産業看護師・ 衛生管理者	264	64 (47)	24
事業主	3,628	252 (114)	7
合計	5,390	546 (278)	10

2. IT活用について

回答全体では、

①インターネットを利用している……394(72.2%)

②当センターのHPをみたことがある…83(15.2%)

③当センターにメールしたことがある…7(1.3%)

④メールアドレスが記入されたのは…278(50.9%)

で内訳は図2-A～2-Cに示す。

図2-A 産業医



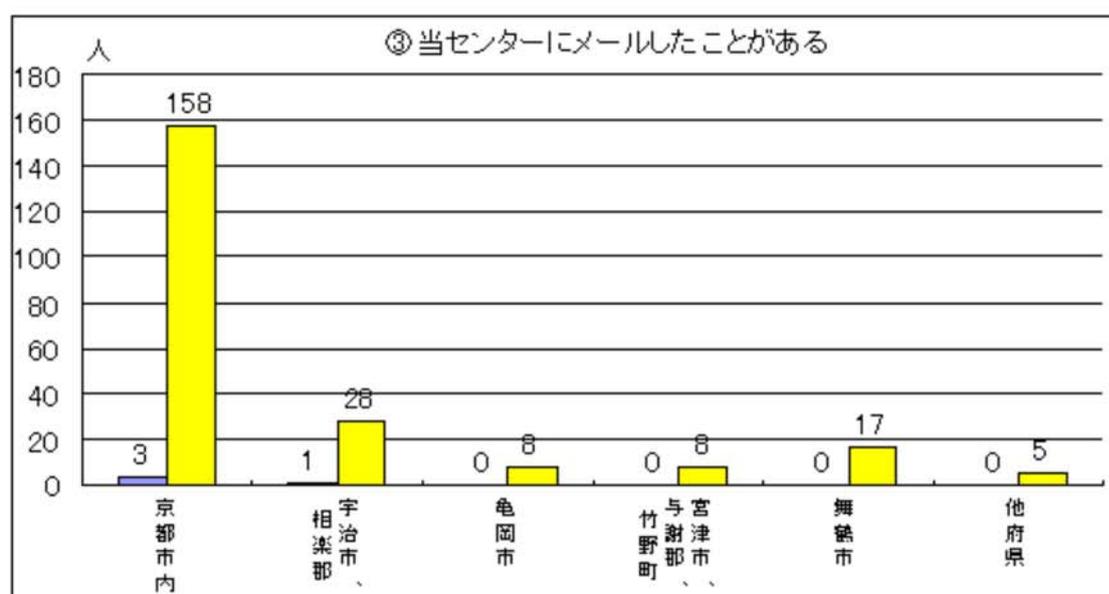
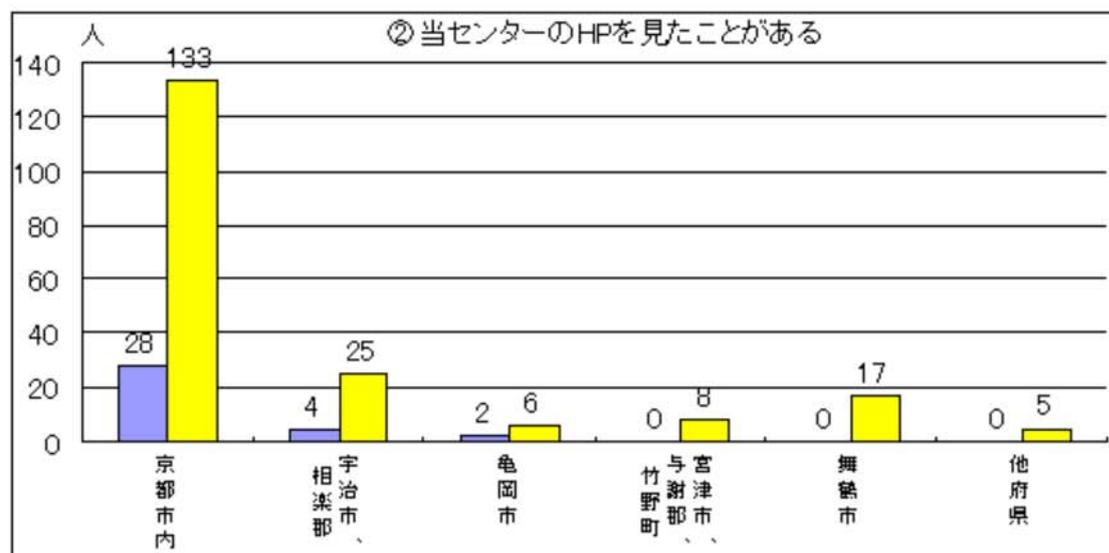
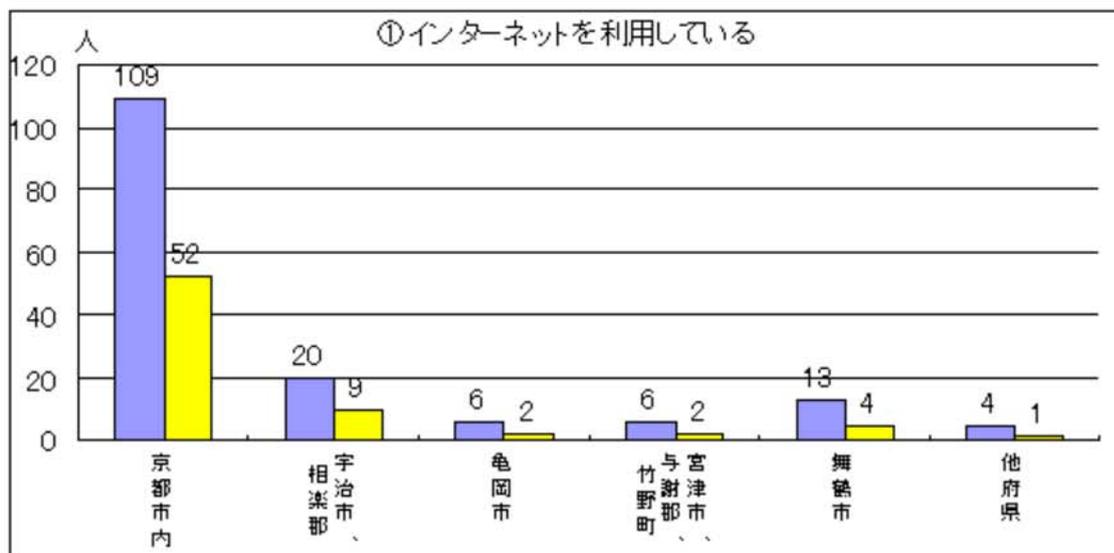


図2-B 産業看護職・衛生管理者

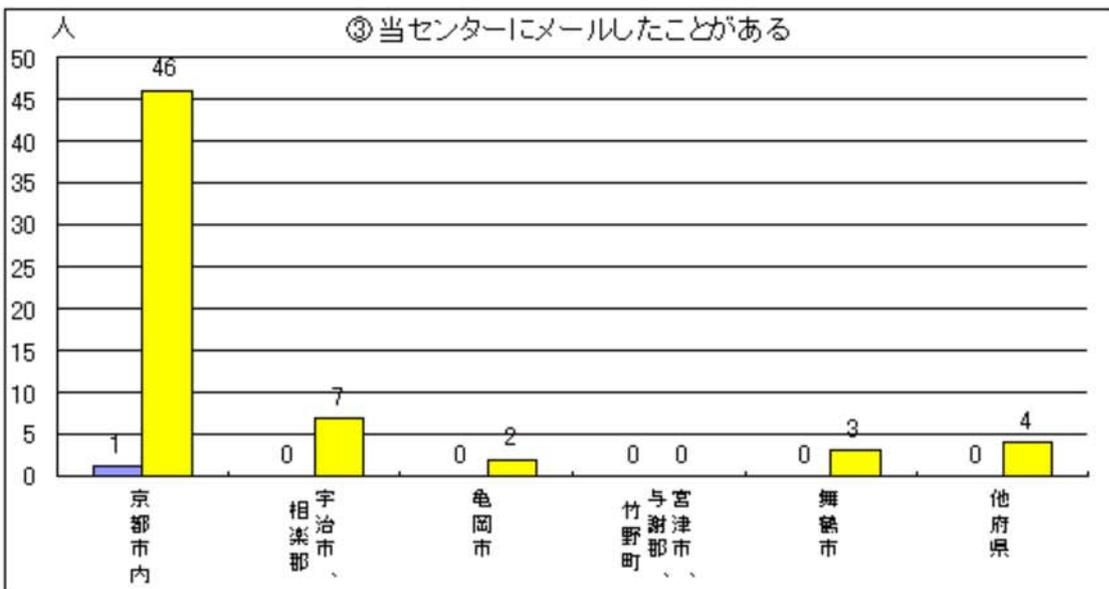
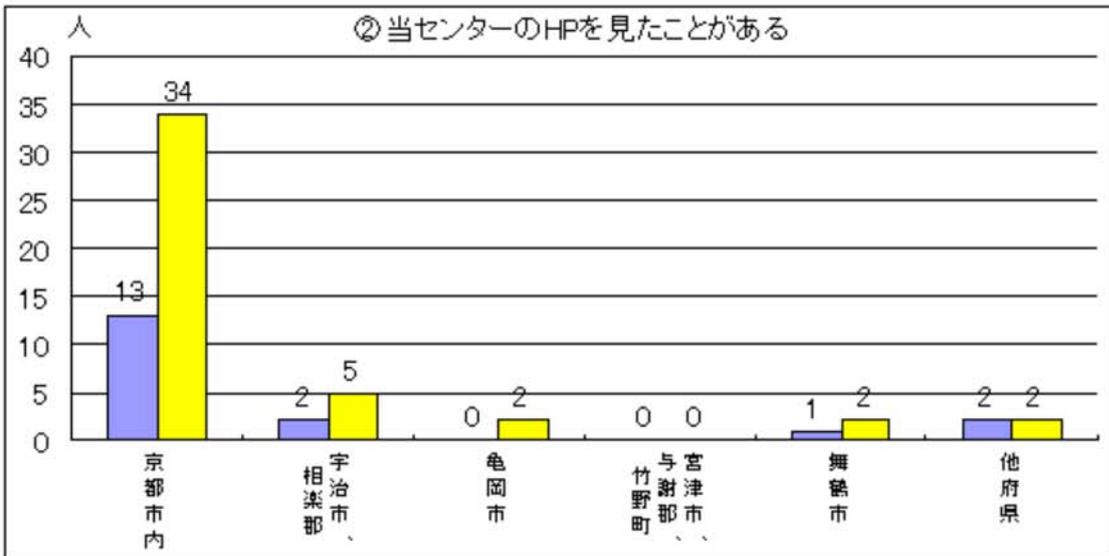
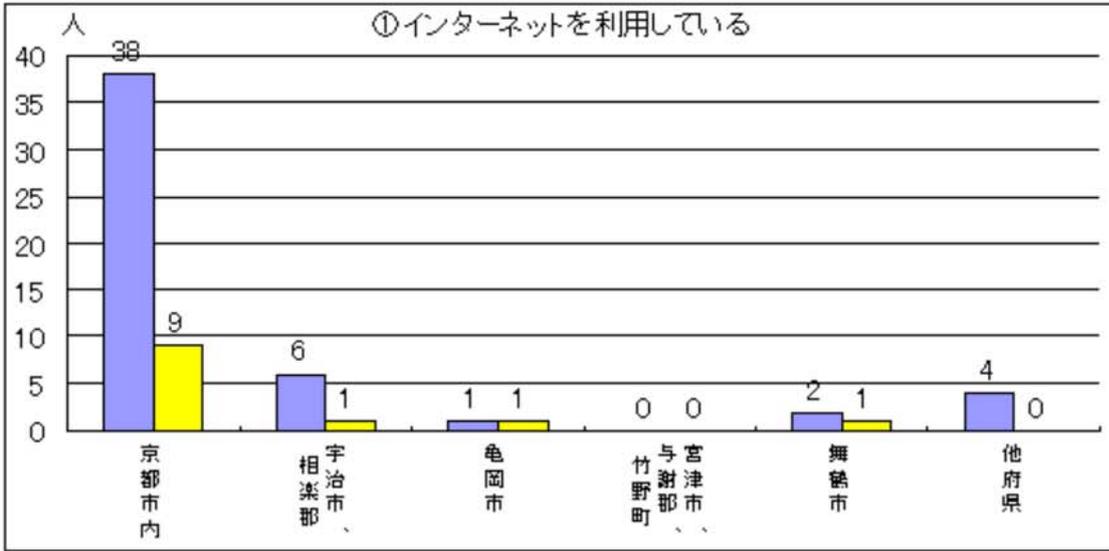
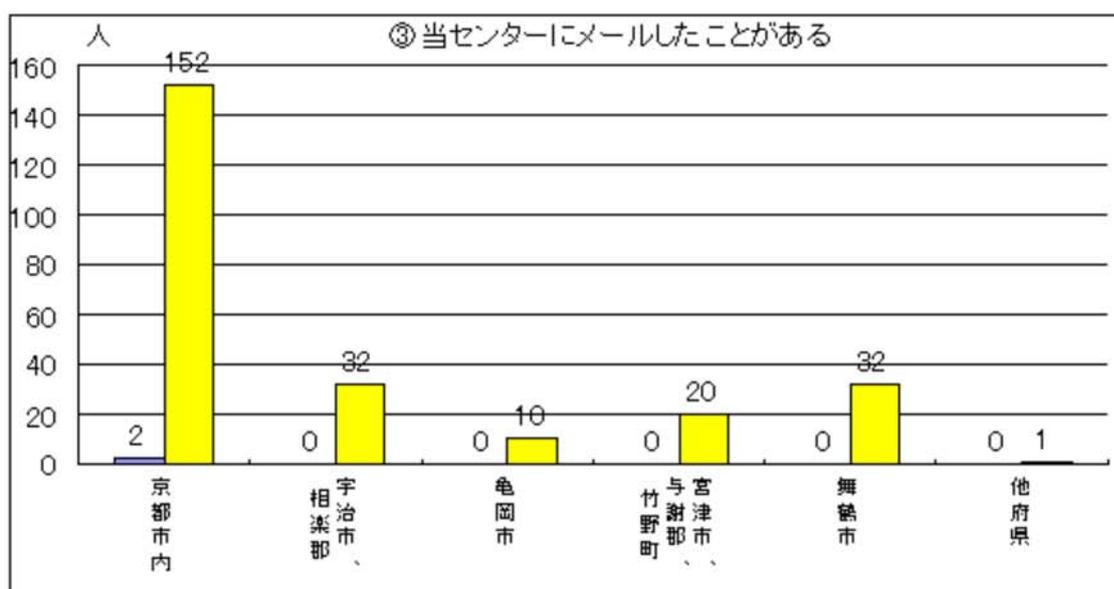
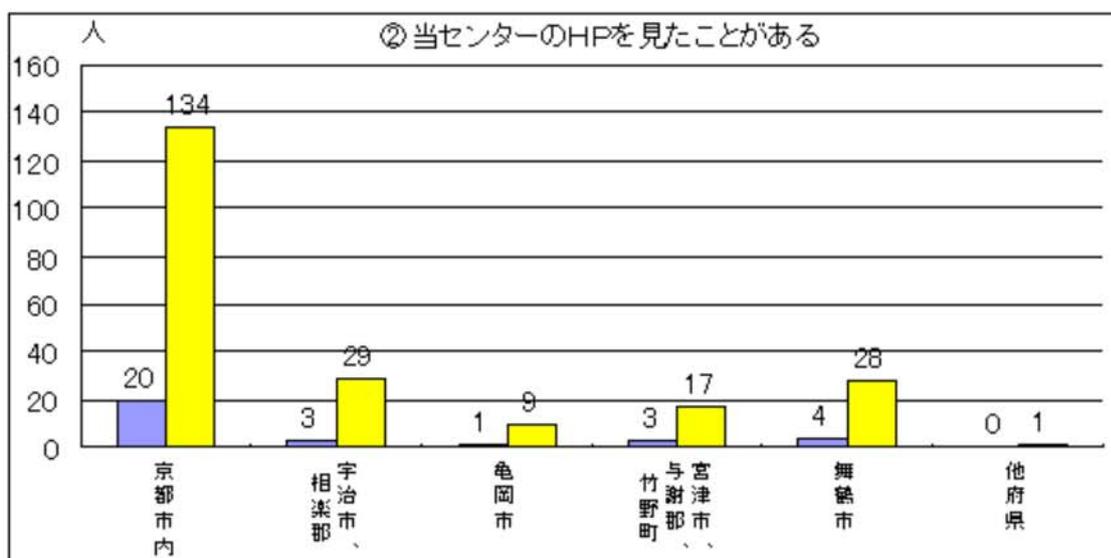
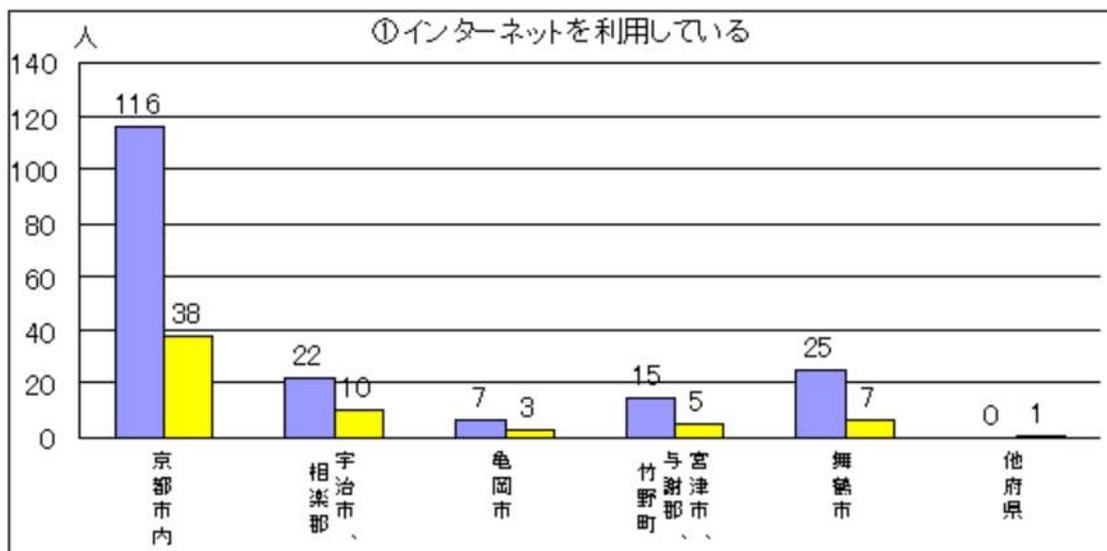


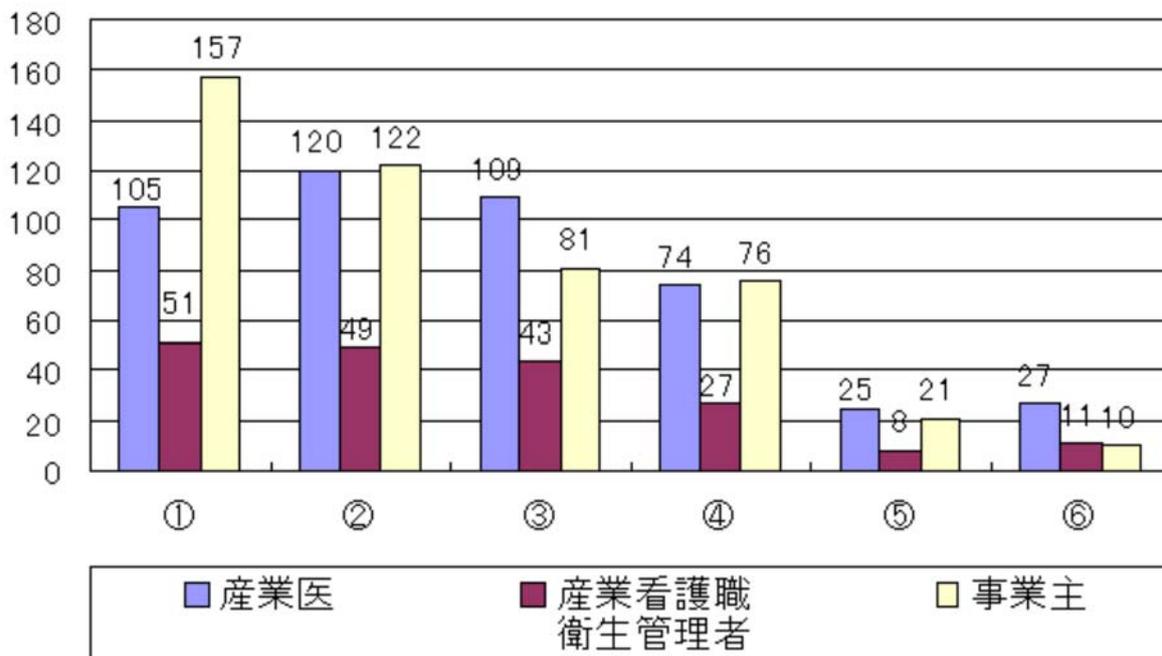
図2-C 事業主



3. 「当センターのIT活動にどのようなものを希望しますか？」に対して、全体では①法令関係メール情報が多く(57.3%)、次に②健康管理に関する情報であった(53.3%)。以下詳細は図3に示す。

図3 京都産業保健総合支援センターのIT活動にどのようなものを希望しますか 次の①～⑥の項目にチェックしていただいた。(複数回答可)

- ①労働安全衛生法令・制度などの最新メール情報
- ②健康管理に関する情報・メール相談
- ③研修会のメール予約や図書・ビデオ・教材等の検索・メール予約
- ④作業管理、作業環境に関する情報・メール相談
- ⑤メールマガジンを発行してほしい
- ⑥産業保健関係のメーリングなどのネットワーク



4. メールマガジンの配信について

今回の調査で当センターのメールマガジンを希望する人は合計で306件、その内訳は下の図4に示す。

また平成14年1月から創刊、その後1～2回/月配信した。

図4 職業別メールマガジン配信数

